

1 問題

複数スイッチ対応版 (multi_learning_switch.rb) の動作解説

2 解答

2.1 コードの解説

multi_learning_switch.rb のメソッド毎にコメントとしてコード (1) の解説を追記する。また、コード中に追記された logger.info メソッドは動作確認のために挿入されたものである

ソースコード 1 multi_learning_switch.rb

```
$LOAD_PATH.unshift __dir__

require 'fdb'

class MultiLearningSwitch < Trema::Controller
  timer_event :age_fdb, interval: 5.sec

  # =====
  # Trema の開始時に全ての FDB (Forwarding DB)を管理する連想配列を作成
  # 開始メッセージを表示
  # =====
  def start(_argv)
    @fdb = {}
    logger.info 'MultiLearningSwitch started.'
  end

  # =====
  # 各スイッチ (lsw1-4) が接続されたらそれぞれについて FDB を作成
  # 各 FDB の識別はスイッチの ID で行う
  # =====
  def switch_ready(datapath_id)
    @fdb[datapath_id] = FDB.new
  end

  # =====
  # PacketIn が発生したら呼ばれるメソッド
  # 宛先が 802.1D 予約済み MACアドレスである場合は何もしない
  # Packet In が発生したスイッチの FDB を取得し、
  # (宛先アドレス, 転送先ポート) =
  # (Packet In の送信元アドレス, Packet In の受信ポート)を記録・更新する
  # 最後に flow_mod_and_packet_out メソッドを実行
  # =====
  def packet_in(datapath_id, message)
    return if message.destination_mac.reserved?
    logger.info "スイッチ #{datapath_id} にて Packet\_In が発生しました"
    @fdb.fetch(datapath_id).learn(message.source_mac, message.in_port)
    flow_mod_and_packet_out message
  end
end
```

```

end

# =====
# 5 秒毎に実行されるメソッド
# 有効期限が切れた FDB のエントリがあれば削除する
# =====
def age_fdb
  @fdb.each_value(&:age)
end

private

# =====
# PacketIn の宛先 Mac アドレスから FDB により転送先ポート番号を得る
# 転送先ポートが見つければ flow_mod を実行
# さらに転送先ポートが見つければそのポートからパケットを転送し、
# 転送先ポートが見つからなければフラッディングする (packet_out で処理)
# =====
def flow_mod_and_packet_out(message)
  port_no = @fdb.fetch(message.dpid).lookup(message.destination_mac)
  flow_mod(message, port_no) if port_no
  packet_out(message, port_no || :flood)
end

# =====
# PacketIn の転送先ポートが見つかった場合は
# 今後同じパケットをスイッチのみで同様に処理できるよう
# send_flow_mod_add を実行する
# =====
def flow_mod(message, port_no)
  send_flow_mod_add(
    message.datapath_id,
    match: ExactMatch.new(message),
    actions: SendOutPort.new(port_no)
  )
  logger.info "スイッチ #{message.datapath_id} の
              FlowTable にルールを追加しました"
end

# =====
# PacketIn を指定のポート (port_no) から送信するメソッド
# port_no に :flood が指定された場合はフラッディングする
# =====
def packet_out(message, port_no)
  send_packet_out(
    message.datapath_id,
    packet_in: message,
    actions: SendOutPort.new(port_no)
  )
  logger.info "スイッチ #{message.datapath_id} の
              ポート #{port_no} からパケットを送信しました"
end
end

```

2.2 動作確認

以下の節の順にパケットを転送し、その際のログメッセージと動作概要を示す。trema.multi.conf に記述されているトポロジは図 1 の通りである。FDB_n, FT_n はそれぞれスイッチ *n* における FDB, FlowTable を意味する (FDB はコントローラ, FlowTable はスイッチで実装されている)。なお、パケットの送信については Trema の send_packets 機能, パケットの到達確認には show_stats 機能を用いた。

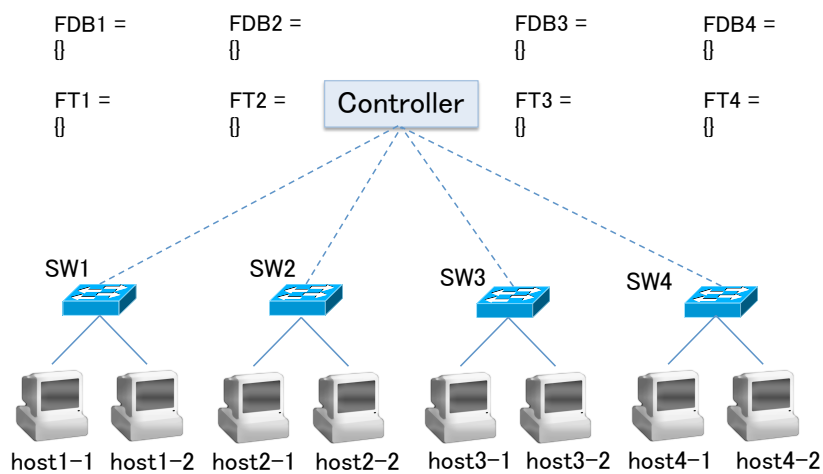


図 1 trema.multi.conf に定義されたトポロジ

2.2.1 (1) host1-1 から host1-2 へパケットを送る ログメッセージ

スイッチ 1 にて Packet_In が発生しました
スイッチ 1 のポート flood からパケットを送信しました

動作概要

host1-1 から host1-2 宛てのパケットが送られると，SW1 にて Packet In が生じる．コントローラはパケットの送信元情報から SW1 の FDB に host1-1 宛てのエントリを生成し，そして host1-2 宛てのエントリは SW1 の FDB に登録されていないため，SW1 に当該パケットをフラッディングさせる．host1-2 は当該パケットが自身宛てのものであるため，受信する (図 2)．

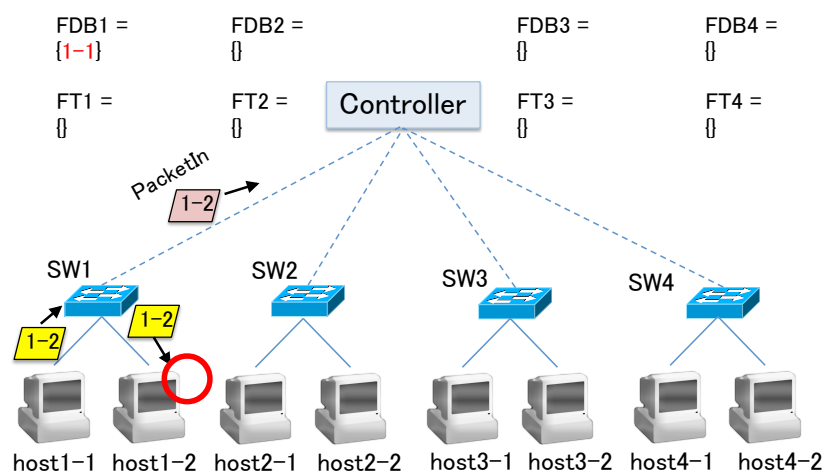


図 2 host1-1 から host1-2 へパケットを送る

2.2.2 (2) host1-2 から host1-1 へパケットを送る

ログメッセージ

スイッチ 1 にて Packet_In が発生しました
スイッチ 1 の FlowTable にルールを追加しました
スイッチ 1 のポート 1 からパケットを送信しました

動作概要

host1-2 から host1-1 宛てのパケットが送られると、SW1 にて Packet In が生じる。コントローラはパケットの送信元情報から SW1 の FDB に host1-2 宛てのエントリを生成し、そして既に host1-1 宛てのエントリが SW1 の FDB に登録されているため、SW1 に当該パケットを適切な転送先（host1-1 が接続されているポート）に転送させる。このとき、同様パケットを今後スイッチのみで転送処理するため SW1 の FlowTable に転送ルールを書き込む（図 3）。

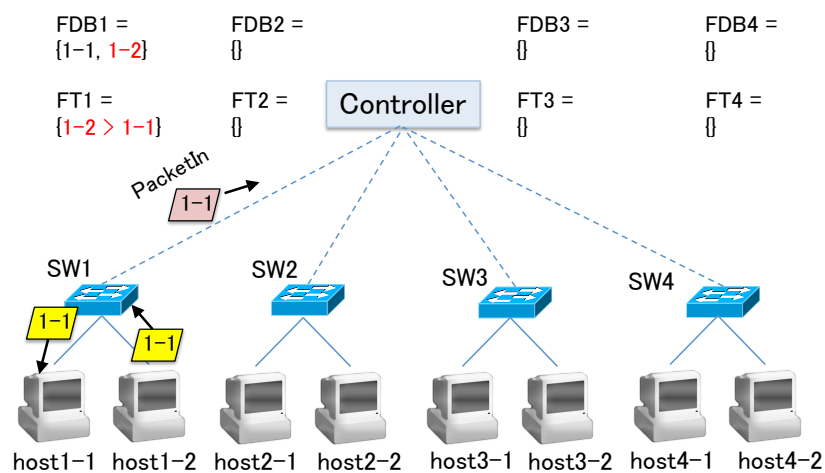


図 3 host2 から host1 へパケットを送る

2.2.3 (3) host1-2 から host1-1 へパケットを送る ログメッセージ

(なし)

動作概要

SW1 の FlowTable に当該パケットの転送ルールが存在するため Packet In は生じない. したがってログメッセージは表示されず, SW1 によって当該パケットは適切に転送される (図 5).

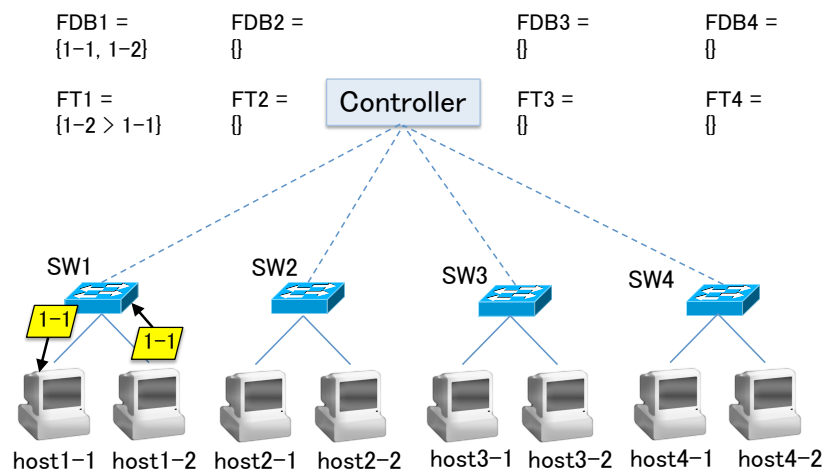


図 4 host1-2 から host1-1 へパケットを送る

2.2.4 (4) host2-1 から host2-2 へパケットを送る

ログメッセージ

スイッチ 2 にて Packet_In が発生しました
スイッチ 2 のポート flood からパケットを送信しました

動作概要

スイッチ、コントローラともに (1) と同様の動作をする (SW1 が SW2 に置き換わっただけである)。このことから、コントローラが複数のスイッチを独立に管理できていることがわかる。

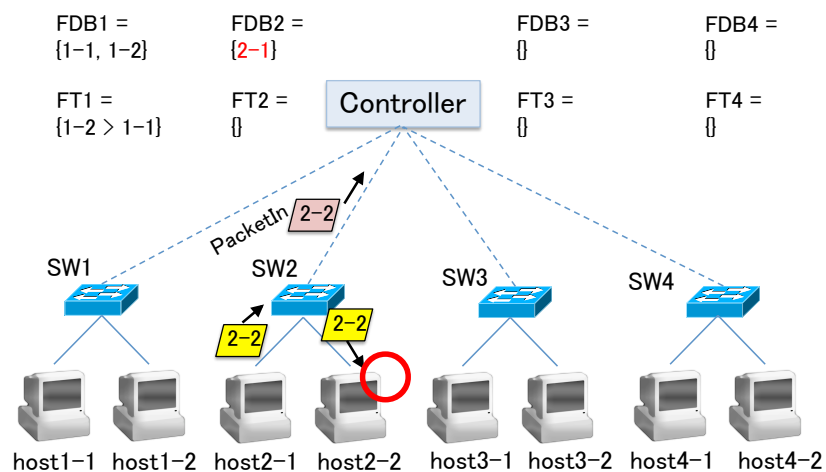


図 5 host2-1 から host2-2 へパケットを送る

2.2.5 (5) host3-1 から host1-1 へパケットを送る

ログメッセージ

スイッチ 3 にて Packet_In が発生しました
スイッチ 3 のポート flood からパケットを送信しました

動作概要

スイッチ、コントローラともに (1)(4) と同様の動作をする (スイッチが SW3 に置き換わっただけである)。ただし、SW3 にてフラッディングされた当該パケットは host3-2 および host1-1 にて受信しないことを確認した。これは、host3-2 が当該パケットが自身宛てでないため破棄したこと、host3-1 が host1-1 とネットワークで接続されていないことを意味する。

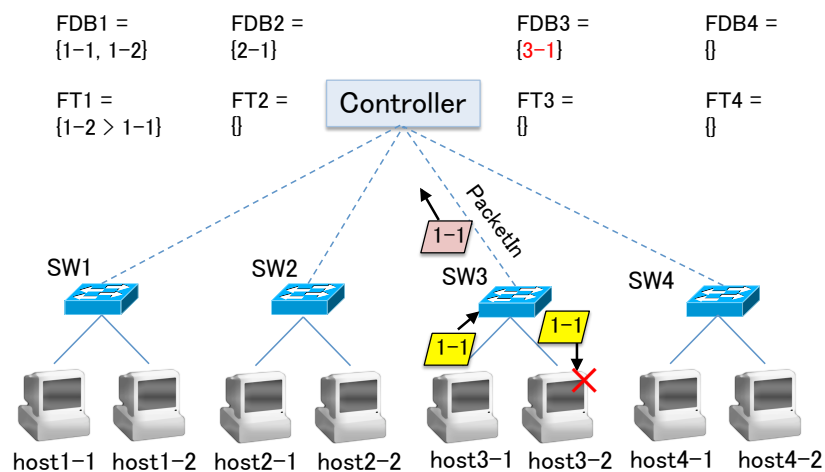


図 6 host3-1 から host1-1 へパケットを送る